

【メルマガ めざせ IT カアップ！ 2021 年 3 月 15 日号】

みなさん、こんにちは。「メルマガ めざせ IT カアップ！」第 56 号です。
前号に引き続き、このサイトにどんなコンテンツが掲載されているかをご紹介します。
このメルマガを初めてご覧になる方には、特に MS Office 系を勉強するのに良い機会と思いますので、このサイトをご活用いただければ、と願っています。

「Excel 表計算 グラフの作成」シリーズのご紹介 その 2

前号では「グラフの作成」シリーズのその 1 として、グラフ作成・編集の基本的な操作のコンテンツをご紹介します。

今号では、その 2 として、複合グラフや補助円付き円グラフなどの複雑あるいは特殊なグラフの作成ポイントを解説しているコンテンツをご紹介します。

1. 複合グラフ

縦棒グラフや積み上げ縦棒グラフ上に折れ線グラフを重ねるなどの、複合グラフの作成の仕方を学びましょう。

2. 補助円付き円グラフ

通常円グラフでは値の小さなものがたくさんになって見にくくなってしまう場合には、「補助円付き円グラフ」を作成して見やすさを改善します。

3. 散布図

散布図は、作る機会は決して多くはありませんが、データの相関関係などを分かりやすく説明するためには、とても便利なグラフです。

4. バブルチャート

棒バブルチャートは、縦・横の 2 軸の中に、大きさを示す円（バブル）を描くことで 3 つの要素を表現することができるグラフで、散布図の一種です。

うまく使えば、見栄え良く、読み手に統計の意味が伝わりやすいグラフになります。

5. レーダーチャート

複数（一般的には 5～10 個）の項目に関して、放射線状に伸びた数値軸上の値を線で結んだ多角形のグラフのことをレーダーチャートといいます。

複数の項目の大きさを一見して比較することができ、調査対象の商品、地域、人などの評価バランスや特徴を把握するのに便利なグラフです。

詳しくは以下のリンク先のページをお読みください。（注 1）

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/excel> を使いこなそう / グラフの作成 /

いかがでしたか？

次号からは、中断前の続きを再開します。第1部「PowerPoint」シリーズの第6弾として「表・グラフの挿入」について、第2部「IT用語基本編」シリーズの第26弾として「デジタルトランスフォーメーション」について、お届けする予定です。

(注1) クリックでリンク先が閲覧できない方は、次の操作を行ってください。

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/> でトップページを開く。

トップメニューから「EXCELを使いこなそう！」をクリックする。

サイドメニューの「グラフの作成」をクリックする。

サイドメニューに上記1～5の項目がでますので、いずれかをクリックする。

(注2) 印刷して読みたいという方のために、各コンテンツのPDFも添付します。

千葉県地域IT化推進協議会 ITリテラシ向上対策部会